

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 15-013
 担当 木原史勝
 内線等 351

PDCA	事務事業名	地域生活支援事業	部課等名	福祉部 地域福祉課 障がい者援護担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 3. 障がい児・障がい者福祉 単位施策： (2) 地域で安心して暮らせる支援体制の充実 個別施策： ③相談支援体制の整備					
	根拠法令等	半田市障がい者地域生活支援事業実施要綱、半田市障がい者相談支援事業実施要綱					
	対象・目的	障がい者及び障がい児の地域での生活を支援し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	半田市社会福祉協議会に「半田市障がい者相談支援センター」の開設を委託し、高い専門性と公平性を担保に多様化するニーズに応えられるよう福祉サービスの利用調整などを行う。また、市内の福祉事業所の基幹的な役割として、個々のニーズから地域の課題へと結びつくよう、自立支援協議会を活用し、行政との共同事務局で協議会を運営する。					
	D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位
①福祉サービス利用者(移動支援、日中一時支援、訪問入浴、体験的宿泊)			266	258	259	人/月	
②障がい者自立支援協議会開催回数			22	30	24	回	
事業費			150,783	143,774	142,063	千円	
人件費			14,593	15,825	15,423	千円	
総事業費			165,376	159,599	157,486	千円	
活動単位当たりのコスト			29年度	30年度	元年度	単位	
①相談件数一人当たりの事業コスト		-	-	-	千円		
②手帳所持者一人当たりの事業コスト		30	29	28	千円		
成果		成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①半田市障がい者相談支援センターへの年間延べ相談件数	実績値	6,280	9,534	9,016	件
			目標値	8,000	8,000	7,000	
		②	実績値				
			目標値				
		③	実績値				
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある			
	事業の評価・課題	B					
		障がいのある外国人を対象とした通訳派遣制度を開始し、支援を必要とする方に障がい福祉サービスが提供されるように相談支援体制を整えた。市が運営する地区路線バスごんくるの運行開始にともない、当該路線を特別乗車証の対象路線に含め、障がいのある方の市内移動の負担軽減を図った。また、障がいのある方の居場所として、市内初の地域活動支援センターを設置する準備を行った。					
		改善推進					
		障がいの重度化・多様化にともない、現行の福祉サービスの対象・給付内容などについてアンケート調査等を行い、福祉サービスの見直しを継続的に行う。支援者の高齢化や「親亡き後」を見据え、障がいのある方が地域で安心して生活を営むことができる地域生活支援拠点等の機能強化を図る。また、障がいのある方への福祉サービスの広報活動、市民向けの障がいに対する理解啓発活動を継続的に行っていく。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	成果指標	目標値		単位		
		①半田市障がい者相談支援センターへの年間延べ相談件数	9,000		件		
令和2年度の目標							